

## 令和8年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	7	議席 番号	19	氏名	植 松 健 一 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1		中心市街地の整備と 活性化について		<p>(1) 中心市街地の整備と活性化については、市長の施政方針でも毎年うたわれている課題である。その中で観光客や市民の滞在・滞留時間を長くすることが一つの目標となっている。そのための一つのキーワードとして「ウォーカブル(居心地が良く歩きたくなる)」というのがこれからのポイントであり、また、現在の都市再生においてトレンドであると感じる。そのための具体策として以下提案し、当局の考えを伺う。</p> <p>① 富士宮への玄関口の一つであるJR富士宮駅北口ペDESTリアンデッキに浅間大社を連想させるモチーフとなるものを設置してはいかがか。</p> <p>② ペDESTリアンデッキでの出店やイベントの開催などデッキスペースの有効利用を考えてはいかがか。</p> <p>③ ペDESTリアンデッキや駅前通り、神田通り、本町通りの歩道に浅間大社や富士宮駅、富士山世界遺産センターの方向と距離を示す案内モチーフをもっと所々に設置してはいかがか。</p> <p>④ ペDESTリアンデッキ上や浅間大社駐車場に天気が悪く富士山を見ることができない時のために富士山の方向に向けた眺望写真を設置してはいかがか。</p> <p>⑤ 富士山世界遺産センター正面の鳥居からの浅間大社参道の整備として、現浅間大社駐車場内についての整備を先行して行ってはいかがか。</p> <p>⑥ 商店街に公共トイレの新設をしてはいかがか。</p> <p>⑦ 観光バス駐車場を神田川観光駐車場に集約し、観光客に浅間大社まで歩いてもらうようにすることはできないか。</p> <p>⑧ 浅間大社や商店街やその周辺の空き地にコインパーキングを誘致し、民間・公共駐車場の空き状況を市の公式LINE等でリアルタイムに提供し、観光客や市民の利便性を向上させ、車で気軽に立ち寄れる状況にしてはいかがか。</p> <p>⑨ 浅間大社のライトアップと連動し、神田川沿い、富士山せせらぎ広場及び神田川広場周辺に夜間演出用の照明を設置し、歩行者を誘発し「夜の散策路」として楽しませる演出をしてはいかがか。また、それと合わせて商店街の夜間営業を行ってもらい、それについての支援を行ってはいかがか。</p> <p>⑩ バルイベントを定期開催し、観光客誘致のメニューにしてはいかがか。</p> <p>⑪ 週末などに富士山せせらぎ広場及び神田川広場にキッチンカーを出店させることはできないか。</p> <p>⑫ 清水港からの大型客船ツアー客のオプションツアーでの観光客を迎える機会が増えている。ツアー客を迎える時に歓迎セレモニー的な演出を行ってはいかがか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長

## 令和8年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	7	議席 番号	19	氏名	植 松 健 一 議員	2 / 2
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
				<p>⑬ 浅間大社周辺に重点エリアを設置し、空き店舗に飲食店を集中して誘致し、食べ歩き・回遊できるエリアとして観光客や市民も楽しめる「バル街」のような活気を創出できないか。</p> <p>⑭ 空き店舗を利用した公設民営型のシェアキッチンを整備し、期間限定で若手が店を出せる仕組み「チャレンジショップ制度」を導入し、期間が終了した後、希望者には近隣空き店舗に本出店するための支援をする「ステップアップ型支援」を行ってはいかがか。</p> <p>(2) 政策としての進め方について。 国土交通省は、「車中心から『人中心』の空間へと街路や公共空間を転換し、居心地が良く歩きたくなるまちなかを創出する取組」として、ウォーカブル推進都市を募り積極的に政策として進めている。既に400以上の都市が賛同し取組を進めており、その中の132市区町村がウォーカブル区域（滞在快適性等向上区域）を設定している。当市の観光も兼ねた世界遺産のまちづくり、中心市街地の活性化の構想にも非常にマッチしていると感じる。 当市も「ウォーカブル推進都市」に登録し、積極的に進めてはいかがか。</p>		